

28時間15分

静岡県が試算した 浜岡原発事故シミュレーション

静岡県は、中部電力浜岡原発の重大事故で原発から半径31キロ圏内の住民が自家用車で逃げることを想定した「避難シミュレーション」(避難時間予測)の結果を公表しました。

約86万人の人が避難しなければならぬ現実がいかに大変なことであるかが明らかになりました。

浜岡原発は稼働停止中、避難は必要か

浜岡原発は、稼働停止中とはいえ多くの使用済み核燃料(約6500体)が燃料プールに存在しています。この使用済み核燃料は、今もなお発熱を続けており、核燃料の燃えカスであるプルトニウムなどの放射性物質とともに水中冷却されています。

それが何らかの事象により全電源や送水が断たれ、燃料プール内の保水水が枯渇するなどの万が一の事態が発生した場合、避難が必要となります。

避難シミュレーションの状況は

●避難手段

そこで見えてきたものは、現実的に、これだけの人口を抱えた地域において住民を安全に避難させることには、大きな困難があるということです。

しかし、現に停止中とはいえ浜岡原発には多くの使用済み核燃料が存在しています。原子力防災への不断の備えは不可欠です。

県シミュレーションの避難方法

避難方法	5キロ圏	5キロから31キロ圏
① 一斉避難	31圏内全ての人が同時に一斉避難	
② 2段階避難	優先避難	5キロ圏の避難後に一斉避難
③ 多段階避難	優先避難	5キロ圏の避難後に1時間おきに約3,000台ずつ避難

難させる2段階避難
③5キロ圏の人たちを優先的に避難させ、その後、1時間おきに約3千台ずつ避難させる多段階避難
計28通りのパターンで試算したものです。

シミュレーションの結果、避難時間は

避難時間は、最長で39時間25分、最短で14時間20分と推計されています。

地震・津波の複合災害で浸水区域の道路が使えない場合、県は避難に伴う住民の被ばくや負担軽減を考慮に入れ、1台ごとの走行時間なるべく短縮することを目指す多段階避難が望ましいとし、その避難時間は28時間15分と推計しています。

迅速避難の困難さ

今回の試算では、地震による道路の損壊は想定されていません。たった30センチの段差ができただけでも車は立ち往生してしまいます。その復旧にどれだけの時間を要するのか、復旧作業ができるかも定かではありません。また、緊急車両の走行や津

波で車両流出した世帯、自家用車を持たない世帯の避難、要援護者などの避難手段の確保、避難時に被ばくした場合のスクリーニングの時間などは推計時間に含まれていません。

これらを考慮すれば、避難の時間はさらに延びるだけでなく確実な避難ができるかどうかも分かりません。

さらに、地震や津波の複合災害の混乱状態時、住民に対する的確な指示や情報伝達に

県シミュレーションによる原発事故後の避難所要時間

災害想定	避難方法	半径31キロ圏外避難	避難車両の走行時間
単独災害	一斉避難	20時間20分	13時間15分
複合災害	一斉避難	21時間55分	22時間05分
単独災害	多段階避難	26時間	4時間
複合災害	多段階避難	28時間15分	5時間30分

*時間は、統計的な信頼値である全住民の90%が避難を完了する割合(90%値)で算出した場合のもの。

よる多段階避難が可能かなど、いくつかの課題が浮かび上がりました。

市としての取り組みは

市では、県が原子力災害時避難計画を示さない中、独自に5キロ圏の避難要領を試算した上で、スクリーニングを含めた訓練を実施しました。



原子力防災学習会で疑問や質問などを話し合う



原子力防災訓練で実際はスクリーニングを体験

市では、これまでどおり市民の皆さんに原子力発電やエネルギー、原子力災害などに関する正しい理解と判断ができる学びの場を提供していくとともに、県が進める「広域避難計画」の策定状況を見極めながら、地区ごとの集合場所や避難の仕方など、皆さんと共に具体的な避難計画の策定に取り組んでいきます。

インタビュー

5キロ圏

地頭方区在住
山下 久雄さん

自動車での避難は困難

万が一のことを考えれば、5キロ圏の住人として永久停止を望みます。現在、使用済み核燃料が保管されている状況にあるため、安全対策には万全を期していきたい。

避難については、住民の7割ほどが想定浸水区域内で生活しているため、車での避難は困難となります。バスの手配や海路を使った避難も必要かと考えます。

万が一の時には先手先手の対応ができるよう取り組んでいくことが必要かと思えます。

5キロから31キロ圏

坂部区在住
大石 言彦さん

お茶や子どものことを考えると

災害時の混乱状況下において、誰もが助けたいという意識の中、県が望ましいとする多段階避難は、不可能に近いと考えます。どのように避難すればよいか想像もつきません。

実際に被災地の状況を目のあたりにして、孫や茶業のことを考えれば浜岡原発は、永久停止にすべきだと考えます。

原発や自然エネルギーなどについてもっと関心を持っていくことが必要だと考えます。